

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：R2 年 5月 28日

事業所名 チャイルドCOCO羽島

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	職員の配置数は適切である	○		子育て経験のあるスタッフの配置や、資格者の配置利用者の人數に対し人員の数は多く配置している。	
	事業所の設備等が適切になされている	○		必要な配置がないため現在はアフターの設備はないが、必要があれば随時対応していく。	
	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		スタッフが個別に問題点を出し合い、全員参加のミーティングで検討・修正をしている。	
	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		送迎時や連絡帳等を通して、保護者とも連絡をとり意見を聞きできる限り実行している。	
	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
業務改善	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		相談支援専門員の意見を取り入れている。	
	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部の研修会で学んだ内容をミーティング等で提示したり資料を回覧したりしてスタッフ間で共有するようにして、保護者の評価を踏まえ相談支援の方やスタッフ間の意見も加味した上で計画を作成をしている。子供の成長に	
	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	子どもの適応行動の状況を把握するため、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		ツールの内容が適切か定期的に検討している	
	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		定期的にミーティングを行いスタッフがそれぞれの提案を検討し活動プログラムを決定して、それを実行している。	
	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		定期的なミーティング等を通して活動内容について検討し改善を図つている。	
	平日、休日、長期休暇のときには、イベントを計画し、児童に負担の内容に工夫している	○		休日長期休暇のときには、イベントを計画し、児童に負担の内容に工夫している。	
	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○		それぞれの子供たちに合わせて計画を作成している。	
	支援開始前には職員間で必ず打合せをして、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		支援開始前に前日の支援記録、業務日誌を確認しその日に必要な内容や役割分担の確認。や申し送りをし、保護者からの連絡等をスタッフ間で必ずする。	
	支援終了後には、職員間で必ず打合せをして、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		その日あつたことや気づいた点をスタッフ全員で話し合いつける。	
	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		スタッフ間の話し合い、相談支援員の方と連絡を取り合い計画の見直しの必要性を判断している。	
	ガイドラインの基準の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	○			

20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況が参画している	○	事前にミーティングを行い子供の状況を改めて確認し参加するようにしている
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○	対応や連絡はすぐ出来るように連絡ツールは確保している
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○	現在は医療ケアが必要な児童は利用していない
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○	
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報提供する等している	○	今のところは移行した利用者がいない必要に応じて対応していく
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもとも活動する機会がある	○	現在は交流はないが今後検討していく
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○	必要に応じて協議会へ責任者を派遣している
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持つている	○	主に連絡帳SNS等を通して日々の活動内容を保護者に伝え状況や課題を共有するよう努めている
29	保護者の応用力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○	
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	事業所利用前に必ず説明の時間を設け理解していただけるようにしている
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	今後保護者会を開催できるよう検討している。
33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があつた場合に迅速かつ適切に対応している	○	今のところ事例はないが、あつた場合の対応には迅速に行いたい
34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	毎月おたよりを発行し活動概要や行事予定を子供や保護者に伝えている
35	個人情報に十分注意している	○	鍵のかかるロッカーに管理しづらい場合のみ開錠している
36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	現在は実施していないが今後は検討している

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している。	<input checked="" type="checkbox"/>	緊急時対応マニュアル等を事業所内の掲示物に提示している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	定期的に避難訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明して解を傳えた上で、放課後等ティザービス計画に記載している。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。	<input checked="" type="checkbox"/>	保護者に食物アレルギーについて確認し配慮している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している。	<input checked="" type="checkbox"/>	事業所内のミーティング等で事例を検討し共有している。